

2012年4月5日

## LCCの受け入れについて

弊社では、今後の30万回への空港容量の拡大に向けて、国際航空ネットワークの強化に加え、ロー・コスト・キャリアー（LCC）やビジネスジェット等の多様な航空ニーズへの対応力を強化することによるマルチ・ファンクション・エアポートの実現を目指しております。

2010年5月に取り纏められた国土交通省の成長戦略では、「成田空港においてLCCの本格的な参入促進を図るため、専用ターミナルの整備等により、低コストオペレーションが可能となる環境を整える」との政策が示されています。また、本年夏には、ジェットスタージャパン、エアアジアジャパンのLCC2社が当空港を拠点として就航することとしており、両社は、国内線を皮切りに、順次、国内線・国際線の便数を増やしていくこととしています。

これらを受け、弊社ではLCC受入に向けた検討を進めてまいりましたが、今後、以下の方針によりLCCの受け入れを進めることとしました。

- i. 当面の間、国際線は第2ターミナルビル、国内線も同ターミナルビル南北に新たに整備する暫定国内線施設で受け入れを行います。
- ii. 今後、LCCの旺盛な就航が見込まれることから、これに対応するため、第2ターミナルビル北側地区（現第5貨物ビルの一部及びエプロン）を候補地としてLCC専用ターミナルを整備することとします。
- iii. LCC専用ターミナルビルは、2014年度中の完成を目指して整備を進めます。このため、2012年度は、専用ターミナルビルの具体的な設計及び準備工事に着手します。また、整備にあたっては、弊社の毎年の事業計画策定過程において、既存航空会社とLCCの競合状況等による影響といった今後の需要動向を見極めた上で段階的に進めることとします。

弊社としては、上記の方針を踏まえ、今後、CIQをはじめとする関係機関と協議を開始し、詳細について検討を進めることとしています。

